

第19期 決算公告

平成30年6月27日  
 鹿児島県鹿児島市唐湊四丁目18番38号  
 株式会社新日本科学ファシリティーズ  
 代表取締役 二反田 真二

**貸借対照表**

(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>702,928</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>13,978</b>
現金及び預金	127,137	未払金	2,370
売掛金	497,670	未払法人税等	35
未収入金	63,418	未払消費税等	11,572
短期繰延税金資産	14,503		
<b>固 定 資 産</b>	<b>453,079</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>13,978</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>452,935</b>	<b>純 資 産 の 部</b>	
建物	219,298	<b>株 主 資 本</b>	<b>1,142,029</b>
建物付属設備	33,625	<b>資 本 金</b>	<b>10,000</b>
構築物	1,727	<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>1,132,029</b>
機械装置	13	利益準備金	2,500
工具器具備品	178	その他利益剰余金	1,129,529
土地	198,105	繰越利益剰余金	1,129,529
<b>投資その他の資産</b>	<b>144</b>		
長期前払費用	113		
長期繰延税金資産	30		
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>1,142,029</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,156,008</b>	<b>負 債・純 資 産 合 計</b>	<b>1,156,008</b>

## 重要な会計方針

### 1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1)仕掛品

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2)貯蔵品

最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

### 2. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産

定率法によっております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）、並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(2)長期前払費用

均等償却によっております。

### 3. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

当期純損益金額

当期純利益

14,666千円